

## 令和6年度定期監査及び決算審査の意見等に基づく取組状況

- 1 照会日 令和7年12月15日（月）
- 2 照会対象 令和6年度定期監査結果及び意見  
令和6年度決算審査意見書、監査調書
- 3 照会の方法 対象期間内において実施した定期監査及び決算審査の意見等に基づき講じた取組の状況について、対象所管長に対して文書により回答を求めた。
- 4 取組状況 別紙「取組状況回答書」のとおり

## 取組状況回答書

対象部署	議会事務局
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年8月1日
意見等	①議会報告会を通じて得られた地元の課題や思いを議会活動や政策提案に活かせるよう議員活動のサポートに努められたい。
取組状況	<p>議会報告会の開催場所の見直し、開催数の増などの支援を行った。</p> <p>また、幅広い年代から意見をいただけるよう市イベントを活用した議会報告会（議会ブースを設置し、市民と意見交換を行う）の実施に向けたサポートを行った。</p> <p>市民からいただいた意見については、執行部へ報告するもの、委員会として調査するもの等に分類し、議会活動に活かせるようサポートを行う。</p>
意見等	②議会のスムーズな運営だけでなく、市職員の働き方改革も考慮すると、今よりも早く事前通告を行い、適切な準備ができるように改善していただきたい。
取組状況	<p>一般質問の通告期限を定例会初日の午後5時から、定例会初日の2開庁日前の午後5時に変更。</p> <p>令和7年12月定例会から実施し、答弁書作成期間を2日間延長することで市職員の準備期間の確保を図った。</p>

## 取組状況回答書

対象部署	秘書広報課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年8月1日
意見等	①広報については、各課と調整して更に SNS を活用するなど、市外の方の目にも多く触れるような工夫や取組を行っていただきたい。また、ふるさと納税につながるよう、PR をお願いしたい。
取組状況	SNS はイベント情報、制度周知を各課と調整して積極的に活用している。また、ふるさと納税についても、トップページにバナーを設置し、直接アクセスできるようにしている。今後も引き続き市内外にアピールできるよう各課と連携して取り組んでいく。
意見等	②広報誌は市が周知したい情報が掲載されているのに対し、ホームページは市民が知りたい情報が求められているため、それぞれの特徴に合わせた記事づくりに取り組まれない。また、ホームページについては、今後も定期的に改修し利便性の向上を図られたい。
取組状況	現在、広報誌にホームページの QR コードを載せるなどの連携を行っている。ホームページについては、改修費も高額になってきているので、周辺自治体の状況などを事前に収集し、効率的な改修をするよう計画的に取り組んでいきたい。

## 取組状況回答書

対象部署	まちづくり政策部企画政策課
監査の種類	令和6年度定期監査、令和6年度決算審査
実施日	令和7年4月24日、令和7年8月5日
意見等	①ふるさと納税について、前年度と比べて増加したことを評価する。加東市の魅力を発信すること、返戻品の情報を伝えることが大切なので、ホームページ等を活用し、まちとふるさと納税のPRを一体的に行い、財源確保に努められたい。(決算審査)
取組状況	市の魅力については、市ホームページや各ポータルサイトの自治体紹介ページで発信しており、今後も継続して取り組んでいく。また、返礼品の魅力がきちんと伝わるような画像制作に取り組むとともに、広告運用なども取り入れることで、市のPRと財源確保に努めていく。
意見等	②福田橋が撤去され、電車の利用者の減少が懸念されるため、将来に渡って公共交通が維持できるように、利用の啓発等に取り組んでいただきたい。(決算審査)
取組状況	令和4年10月の福田橋落橋により、JR社町駅の利便性が悪化する恐れがあったものの、令和3年度の利用者数353人/日に対し令和6年度は414人/日であり、限定的な影響にとどまっている。JR加古川線は市内の公共交通網を構成する重要な幹線であるため、今後も駅周辺の環境整備や利用啓発に取り組んでいく。
意見等	③市内の公共交通については充実してきたが、若い世代の定住を考え、市外への行き来ができる電車やバスといった公共交通の維持・確保に努めていただきたい。(決算審査)
取組状況	市外への通勤・通学の移動手段を担う幹線系統路線バスについては、国・県の運行補助制度を活用し、運行の維持を図っている。市域を超えた路線であることから、県や沿線市町とも随時協議・調整を実施し、引き続き維持確保に取り組む。
意見等	④公共交通対策事業における実証実験期間については、認知されるまでに要する時間を十分考慮して設定し、公共交通において長期的な視点で効果的及び効率的なものを見極めていただきたい。(定期監査)
取組状況	令和7年1月から実証実験を行っている滝野コミュニティバスについては、周知に要する期間やルート・ダイヤの定着を考慮し、1年以上の実証実験期間を確保している。今後も、定着期間も考慮した期間を設定して検証・検討を行い、有効性を判断していく。

## 取組状況回答書

対象部署	まちづくり政策部まちづくり創造課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年8月5日
意見等	①まちの拠点づくりや産業団地創出については、いずれも市にとっては大きなプロジェクトであり、関係機関との調整も多くの課題があると思われるが、スピード感を持って活力あるまちづくりを推進されたい。
取組状況	<p>まちの拠点づくりについては、イベント開催等のソフト面における取組を継続実施するとともに、にぎわい・憩いの空間創出に向けた官民連携による一級河川下川周辺の整備や、民間事業者による土地利用を促進するための市道社環状線における上水道の整備に着手しています。また、加東バスターミナル・にぎわい交流施設「halK」南側の土地利用に向けて、エリア構想の検討や土地利用調整に係る関係機関協議を進めています。</p> <p>産業団地の創出については、企業が求めるスピード感のある整備実現を目指し、主要地方道西脇三田線に近い山林エリアやその他エリアにおいて、地域や地権者、事業者の意向を踏まえながら、官民連携による整備に向けた検討を行うとともに、開発に係る関係機関との協議を進めています。</p>

## 取組状況回答書

対象部署	まちづくり政策部人事課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年8月5日
意見等	①組織風土改革により、風通しの良い職場づくりを行うことで、職員の意欲を高めるとともに、職員が積極的に研修に参加し、習得したノウハウ等を仕事に活かせる職場環境の整備に努められたい。
取組状況	<p>組織風土改革では、職員が意見や提案を発信しやすい職場環境の醸成に取り組んでいる。また、職員の主体的な成長を促すため、各種研修への積極的な参加を促している。今年度は、職員が研修成果や知識を業務に活かすため、職員を講師とした「勉強会」のほか、「ゆめいく」や「デジ活」といった活動を通じた情報発信及び知識を深める場を自主的に開催しており、意識改革や実践の機会を持つ風土が生まれつつある。</p> <p>今後も、職員の意欲向上と能力発揮につながる風通しの良い職場づくりを推進し、行政サービスの質の向上を図っていく。</p>
意見等	②公益通報制度については、1号通報の窓口の見直しを検討いただくとともに、近隣市町の状況を踏まえて、3号通報に対する体制整備を求める。
取組状況	<p>1号通報窓口体制では、職員への周知や中立性・信頼性の確保を徹底するとともに、通報の処理体制や記録・報告体制を点検し、より安全で信頼性の高い体制の整備に取り組んでいく。3号通報の体制整備では、近隣市町の取組状況や全国的な動向の調査・情報収集を行い、対応体制の在り方について慎重に研究・検討していく。</p> <p>今後も、制度の適正な運用と市民・職員の信頼確保に資する体制整備に努める。</p>
意見等	③メンタル不調について、ストレスチェックを実施しているが、予防の観点から、必要に応じて市職員の配置換えなどを検討いただきたい。また、策定いただいた「加東市メンタルヘルス対策に関する計画」等を活用しながら、休まれた方のサポートだけでなく、周りの方の意識改革も含めて、職務環境の改善に取り組んでいただきたい。
取組状況	<p>メンタルヘルス対策として、心の相談体制の周知を行うとともに、長時間労働の職員に対しては、産業医による面接・指導内容を踏まえ、所属長との面談を実施し、役割分担の見直し等、職場環境の改善を促している。また、ストレスチェックの結果に基づき、外部委託の保健師と市の保健師が連携し、高ストレス者に対する産業医面談の勧奨を行うこ</p>

	<p>とで、メンタル不調の予防と早期対応に取り組んでいる。</p> <p>職員の配置については、メンタル不調者の復職時における配置換えを前提とするものではなく、全庁的な人員配置のバランスや人材育成・活用の観点から、適材適所を基本に検討している。あわせて、復職支援プログラムによる休職者への支援に加え、周囲の職員の理解促進や意識改革を図り、引き続き職務環境の改善に努めていく。</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 取組状況回答書

対象部署	まちづくり政策部デジタル推進課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年8月5日
意見等	①DX推進について、ウイルス対策などのセキュリティ対策を十分に行い、市民サービスの向上及び業務の効率化に向けて、引き続きデジタル化を推進していただきたい。また、システム導入や改修に当たっては、行政の効率化等に向けて、各課の支援に努められたい。
取組状況	今年度においては、DXを推進する人材を育成するための定期的なワーキンググループの開催及びBPR（業務改革・改善）研修を実施するとともに、各課の職員がデジタル化や業務効率化に取り組む際に生じた疑問や不安を解消する場を週に一回設けることに加え、現場への伴走支援も並行して行っている。それと同時に、専門知識を持った職員が意識せずとも高いセキュリティが確保できるよう、ウイルス対策ソフト等を用いて技術的な情報セキュリティ対策を講じるとともに、セキュリティ事故を起こさないような業務フローや仕組みの構築の支援に努めている。
意見等	②セキュリティ対策について、情報漏洩等が起こらないように、ルールの遵守を徹底するため、職員へのセキュリティ研修を継続されたい。
取組状況	毎年、全職員を対象に対面での情報セキュリティ研修、eラーニング及び自己点検を実施するとともに、定期的な注意喚起や情報共有を通じて、日常的に情報セキュリティ意識の向上に取り組んでいる。

## 取組状況回答書

対象部署	総務財政部総務財政課
監査の種類	令和6年定期監査、令和6年度決算審査
実施日	令和6年12月25日、令和7年8月7日
意見等	<p>①財政指標等から見て早期健全化基準等に至るような大きな問題はないが、財政の硬直化を示す経常収支比率が上昇傾向にある。財政は市の根幹であるとともに、特に市民の関心も高いため、今後の社会経済情勢を正確に把握し、中長期的な視点で、適正な財政運営に努められたい。 (定期監査、決算審査)</p>
取組状況	<p>毎年度、10年間の収支見通しを作成し、適正な財政運営に努めています。この中では、財政指標は徐々に悪化していくものの、健全化判断比率が早期健全化基準に至ることまでは想定していません。</p> <p>また、経常収支比率については、人件費、扶助費、公債費等の経常経費充当一般財源が増加傾向にあるため上昇傾向にあります。近年は投資的経費にも充当率の高い地方債を充てることができるため、この比率が高いことは弾力性が低いとはいえものの、ひっ迫の程度が高いとはいええないという分析もされています。引き続き、公債費の負担が重くなりすぎないように取組を進めていきます。</p>

## 取組状況回答書

対象部署	総務財政部管財課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年8月1日
意見等	①公用車に関して、ドライブレコーダーが設置されていない車両は、更新時に設置する方針であることを確認したが、事故が起きた際、運転手を保護するためにも、できる限り早く全車に設置されたい。
取組状況	公用車については、すべての乗用車（消防庁から貸与を受けている、市役所分団用の多機能車を除く）について、ドライブレコーダーを設置済です。 今後も車両更新時には、ドライブレコーダーを設置する方針であり、公用車の適正管理に取り組みます。

## 取組状況回答書

対象部署	総務財政部税務課
監査の種類	令和6年度定期監査、令和6年度決算審査
実施日	令和6年11月25日、令和7年8月7日
意見等	①差押え等による滞納処分積極的に取り組んだことにより、収納率が向上したことを評価する。滞納処分等を行う際は、物価高騰等により生活に影響が出ている滞納者もいると思われるため、滞納者の生活状況等を正確に把握した上で、適切な対応に努められたい。(決算審査)
取組状況	納税相談があった場合には生活収支状況表に記載を依頼するとともに生活実態の把握に努めています。また、滞納処分については財産調査により処分可能な財産をしっかりと把握した上で法令根拠に基づき適切に対応しております。
意見等	②固定資産税において、償却資産の自己申告を促すことで、未申告の税収増が見込まれると思われるため、周知に努められたい。(決算審査)
取組状況	償却資産の申告について、市広報、市HP、文字放送を活用し申告を促しています。また、新規に事業を開始した者や太陽光発電設備を新規に設置した事業者を官公署への照会により把握し申告書を送付するほか、未申告者に対して催告文書を送付し、申告を促しています。
意見等	③徴収率については、現年度分・過年度分ともに昨年度を上回っており、特に滞納繰越分については積極的な徴収事務の結果と評価する。将来的に税収の増加が期待できない中、徴収事務の重要性はより高まっている。また、本年度においても厳しい資金運用状況であることから、滞納繰越分はもちろん、現年課税分についても、新たな滞納者を増やさないう、今後も徴収に努められたい。(定期監査)
取組状況	令和7年11月末時点において、過年度分滞納者数は1,198人となっており、昨年同時期に対し256人減少しております。滞納処分件数については、459件、昨年同時期に対し208件増加しており、適切に対処しております。今後も催告を含め、滞納処分等を実施していきます。 また、現年課税分について、催告書の様式変更などを積極的に行い、徴収率及び収入額の増加を目指しております。

## 取組状況回答書

対象部署	総務財政部防災課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年8月1日
意見等	①安心安全なまちづくりに向けて、犯罪への抑止力を高めるため、防犯カメラや防犯灯の補助事業について地域への周知に努められたい。
取組状況	<p>防犯カメラの設置に対する補助及び防犯灯の設置については、いずれも毎年2月に開催される第1回全体区長会にて各地区へ周知を行っている。また、地域の方から防犯灯の設置や防犯カメラの設置補助に関する問い合わせがあった場合には、地区からの要望及び申請のみ受け付けているため、一度区長に相談するよう案内している。</p> <p>今後も継続して事業の周知に努めていきたい。</p>
意見等	②各地区自主防災組織防災訓練の開催回数と参加人数が、年々増加している。ひとり一人の防災意識の向上と地域の防災力を高めるため、防災課においても多くの方が参加できる訓練等の増加に努められたい。
取組状況	<p>市民の方々により一層、防災・防火・交通防犯について考えていただく機会の創出を目的に、今年度新たに安全安心フェスタ2025を実施し、多くの方に参加をいただいた。市民の防災意識の向上を図るため、安全安心フェスタについては、今後も継続して実施していく予定である。また、地域における防災訓練や講習会の実施を引き続き支援することにより、地域の防災力の向上を図る。</p>

## 取組状況回答書

対象部署	市民協働部市民課
監査の種類	令和6年度定期監査、令和6年度決算審査
実施日	令和7年1月27日、令和7年8月4日
意見等	①コンビニでのマルチコピー機の使用に不安を覚えている市民のため、市役所の1階にコンビニのマルチコピー機を設置することを検討していただきたい。(決算審査)
取組状況	<p>市役所に来なくても手続きができる窓口サービスを目指して、証明書コンビニ交付やオンライン申請サービスを推進している。また、市役所にマルチコピー機を設置するための設備費や運用経費が追加で発生することもあり、市役所1階にマルチコピー機を設置することは検討していない。</p> <p>証明書コンビニ交付を含めた各種サービスの利用方法は随時分かりやすさに重点を置いた図解入りの手順書を作成するなど周知していく。</p>
意見等	②マイナンバーカードの更新手続きについて、更新通知にスマートフォンでの手続き方法が記載されていたが、高齢者などによりわかりやすい案内を工夫されたい。(決算審査)
取組状況	更新通知については国から直接送付されるものであるため、案内の追加・変更はできない。加東市の取組として、令和7年度7月広報で更新手続きに関する特集を組んだように、今後もケーブルテレビや広報、HP等を通じてわかりやすい案内・周知を行っていく。
意見等	③書かない窓口などDX化に積極的に取り組まれていることを評価する。DX化において、デジタル機器の扱いが苦手な市民が取り残されないように工夫されたい。(決算審査)
取組状況	<p>デジタル機器を使用する証明書コンビニ交付を含めた各種サービスの利用方法は随時分かりやすさに重点を置いたホームページを作成するなど周知していく。</p> <p>また、デジタル機器を使わなくても手続きができるよう、従来通りの市民課窓口業務や郵便請求業務を引き続き継続する。</p>
意見等	④東条郵便局における証明書発行については、証明書コンビニ交付の普及に伴い更に需要が減少していくことが想定されるため、存続の方向性を検討しなければならない。(定期監査)
取組状況	証明書コンビニ交付の普及に伴い更に需要が減少している。現在使用している機器の後継機が発売されないことも踏まえ、使用契約期間満了以降(令和9年7月)の存続の方向性を令和8年度に検討する。

## 取組状況回答書

対象部署	市民協働部保険医療課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年8月4日
意見等	①国民健康保険税の収納率の向上を評価する。滞納世帯への短期被保険者証等の交付が廃止となったため、今後の滞納の動向を注視し、税務課と密な連携を行い、必要な対応を検討されたい。
取組状況	現年催告の時期を早めるなど早期催告に取り組んでいる。また、現年については、3月に再度催告文書を送付する予定である。 その他、送付する封筒や紙の色を工夫するなど対策を行った。
意見等	②国民健康保険特別会計の健全財政の維持という観点から、歳出の大半を占める医療費の抑制を図るため、引き続きジェネリック医薬品の推進等に尽力されたい。
取組状況	医療費抑制を図るため、引き続き医療費通知の発送を行うとともに、広報などでも啓発活動に取り組んでいる。

## 取組状況回答書

対象部署	市民協働部生活環境課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年8月4日
意見等	①13年連続、生活系（家庭）ごみの少なさが県内第1位となったことを評価する。引き続き事業系を含め、ごみの減量について啓発に努められたい。
取組状況	ごみの減量についての啓発については、広報かとうや市ホームページ、ごみ減量・リサイクル懇談会で周知し啓発を行いました。

## 取組状況回答書

対象部署	市民協働部人権協働課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年8月4日
意見等	①加東市まちづくり活動費補助金(応援活動分)制度を利用した北はりま稲刈りロボットコンテスト等をhalKで開催するなど、加東市とのつながりを継続するように働きかけていただきたい。
取組状況	<p>北はりま稲刈りロボットコンテストについては、R6年度で本補助金の活用は終了しましたが、R7年度も加東市、加東市教育委員会等の後援のもと、同コンテストを実施されており、市として資金面以外の支援を続けています。</p> <p>また、当課としては令和5年度から3年間、過去の補助金活用団体も対象とした市民活動団体交流会を実施し、過去団体の活動状況を把握するとともに、団体間の交流を通じた活動の広がりを生む機会を設けました。</p> <p>今後も、団体に補助金活用後の展望を聞き取り、活動に協力できる関係課へつなげる等、市と団体が補助金のみの一過性の関係で終わらないよう努めていきます。</p>
意見等	②第18期加東市民人権講座について、前年度より開催時期及び開催方法を工夫されている。引き続き、少しでも多くの方が修了できるように工夫されたい。
取組状況	<p>令和6年度から、講座の開催曜日、時間、方法について、受講者のニーズを取り入れながら、平日夜の開催やケーブルテレビ、YouTubeでのオンライン開催を実施し、修了率が増加しました。令和7年度も、同様の工夫を引き続き実施しています。</p> <p>今後も、啓発の必要性を適切に見極めつつ、受講者のニーズを踏まえた内容・運営とし、より多く受講者の参加につなげていきます。</p>
意見等	③まちづくり活動団体数が、コロナ禍以前より大幅に減少している。これら地域活動は行政の補完だけでなく地域を共に創る活動であることから、コロナ禍以前のように各団体が活発に活動できるように、啓発に努められたい。
取組状況	<p>まちづくり活動費補助金では、趣旨に合致する公益性の高い活動を対象としており、団体の内部にとどまるサークル的な活動や、市民の利益につながりにくいもの、活動目的が不明確なものは対象外としています。応募や認定に至らなかった団体に対しても、まちづくり活動につながるよう支援していきたいと思います。</p>

	<p>周知については、市ホームページやフェイスブックへの情報掲載、記者懇談会での情報提供、ケーブルテレビでの情報発信、市内外公共施設への募集要領の設置などにより制度の周知を図っています。他にも該当しそうな団体に個別アプローチするなど、制度周知には今後も尽力していきます。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 取組状況回答書

対象部署	市民協働部福祉総務課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月31日
意見等	①ひとり親世帯の貧困や児童虐待などの相談について、生活、就労、学習など問題が多岐にわたるため、複数課で連携し、ワンストップでの対応に努められたい。
取組状況	<p>ひとり親世帯や児童虐待などの相談については、主担当課である福祉総務課が相談窓口となり、必要に応じて関係各課と連携・情報共有を行っています。</p> <p>引き続き、相談者の負担軽減を図る観点から、ワンストップでの支援体制の充実に努めます。</p>

## 取組状況回答書

対象部署	健康福祉部社会福祉課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月31日
意見等	①生活保護率の減少について、生活困窮者自立支援等で十分な支援を実施した結果が反映された部分があるのではないかと評価する。引き続き、生活保護になる前に、自立支援等の必要な支援に努められたい。
取組状況	生活困窮者からの相談に対応し、相談に応じた助言や支援に努めております。令和7年9月末時点で1,467件の相談支援を行いました。 今後も生活困窮者支援に関わる団体と関係を構築し、支援手段を増やすことで円滑な支援が行えるよう努めます。
意見等	②生活困窮者自立支援事業における相談内容について、子育ての相談は、子どもの学習支援に関するものが多いことを確認した。ひとり親世帯の半数近くが生活困窮の問題を抱えておられるので、困窮が子どもに影響を与えないように、必要な支援に取り組んでいただきたい。
取組状況	令和7年11月末時点の子どもの学習・生活支援事業の参加者は20人となっております。 今後も生活困窮世帯の様子に注意し、必要な支援を行ってまいります。

## 取組状況回答書

対象部署	健康福祉部高齢介護課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月31日
意見等	①はり・灸・あん摩・マッサージ施術費助成事業について、助成金申請者数が昨年と同数であり、加東市内の高齢者人口から見ると少ないため、周知に努められたい。
取組状況	広報かとう3月号やCATV文字放送にて対象者や申請について啓発を行います。
意見等	②高齢者の保健事業として、介護予防と一体的に実施している「かとうまちかど体操教室」や、介護保険事業として実施している様々な介護予防事業は、高齢者のQOLを維持・向上させるだけでなく、市が所管する介護保険の給付費の抑制や国民健康保険の医療費の抑制につながるものであるため、積極的に事業展開に努められたい。
取組状況	介護予防事業の推進につきましては、かとうまちかど体操教室等通いの場の内容の充実と誰もがより活用しやすい事業となるよう事業展開を行っています。 市民の方々に広く周知できるよう出前講座や広報かとう・CATV等を活用しながら積極的なPRを図っていきます。

## 取組状況回答書

対象部署	健康福祉部健康課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月31日
意見等	<p>①まちぐるみ総合健診の受診者数はコロナ禍以前より減少しているものの、国民健康保険加入者の減少等がある中で、休日実施など受診しやすい環境を整備したことにより一定の水準は保たれている。この健診は、病気の早期発見・早期治療、そして加東市の医療費抑制につながる重要な事業であるため、引き続き受診率の向上に尽力されたい。</p>
取組状況	<p>まちぐるみ総合健診は、20歳以上の全世帯主宛に申込書を送付し、広報誌や文字放送、各保健事業等様々な機会を通じて啓発を行った。また、対象者（国保加入者や過去受診歴がある方で未申込者等）に電話や文書にて受診勧奨を行った。</p> <p>受診しやすい体制整備に努めるため、受診日希望制や時間指定制を継続して実施した。さらに健診日数は5月～6月に16日間と、追加で11月に1日実施し、受診できる機会の拡充を図った。</p> <p>今後も受診者が増加するよう、啓発や受診しやすい体制整備を強化していく。</p>

## 取組状況回答書

対象部署	産業振興部農政課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月24日
意見等	①地域計画が未策定の地区については、区長や農会長に強く働きかけていただき、策定済みの地区に対しては、策定後の計画の見直しや計画の達成に向けた地域の具体的な取組等を農会長会議などで周知、啓発に努められたい。
取組状況	令和7年度末に全地区で地域計画が完成するよう努めていますが、2地区程度難しい地区があります。地区計画が完成して終わりではないので、計画の達成に向けて農会長会や農業委員会などで周知・啓発に努めます。
意見等	②担い手の確保・育成に向けて、引き続き、認定農業者の掘り起こしや高齢化が進む集落営農組織への支援などに取り組みられたい。
取組状況	地域計画の担い手や就農希望者などと積極的にコンタクトを持ち、営農指導を行っています。

## 取組状況回答書

対象部署	産業振興部農地整備課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月24日
意見等	<p>①アライグマ等緊急捕獲対策協力報奨金交付制度の報酬金額 3,000 円は適正な金額であり、市民の協力を得て成果が出ていることを評価する。被害を減らすことは困難な課題であるが、継続して捕獲に取り組むとともに、獣害ベルト整備などと合わせて実施することにより鳥獣被害の軽減に努められたい。</p>
取組状況	<p>有害鳥獣対策は、①侵入防止対策、②生息環境管理、③個体群管理の3本柱を基本に取組んでいます。</p> <p>①侵入防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気柵等資材購入費を補助</li> <li>・イノシシ柵をシカ柵へと嵩上げを行う金網柵資材を支給</li> <li>・山際に設置する金網柵資材を支給</li> </ul> <p>②生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山裾の藪等を伐採し、イノシシ等が人里に寄り付きにくい環境の整備（獣害ベルト整備事業、森林整備事業）</li> </ul> <p>③個体群管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アライグマ等緊急捕獲対策協力報奨金交付制度</li> <li>・アライグマ等捕獲檻購入費補助</li> <li>・イノシシ、シカの有害鳥獣及びアライグマ等特定外来生物の捕獲等を兵庫県猟友会加東支部と委託契約締結して対応</li> </ul> <p>◇その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区に応じた対策を検討・協議するため害鳥獣対策の専門家を派遣する鳥獣対策サポーター派遣支援事業</li> <li>・イノシシ、シカの有害鳥獣及びアライグマ等特定外来生物に対する有害対策セミナー</li> <li>・地区の害獣の被害状況及び獣害対策を記載した獣害カルテの作成・配布</li> </ul> <p>◇今後の取組み</p> <p>上記の取り組みを継続することにより、地区の獣害対策を支援し、鳥獣被害の軽減に努めて参ります。</p> <p>計画の最終年度を迎える加東市金網柵等緊急設置5か年計画は、集落柵の整備状況を把握し、今後の集落柵の整備計画を確認して令和8年度に計画の更新等を検討します。</p>

	<p>また、報奨金制度についても、併せて実施している捕獲檻購入に係る補助金制度も含め、令和8年度に制度の更新等を検討します。</p>
--	--------------------------------------------------------------------

## 取組状況回答書

対象部署	産業振興部商工観光課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月24日
意見等	①人材確保事業支援補助金は9事業所に対し補助を行ったと説明があった。事業活用による人材の定着率の調査は行っていないが、補助金額確定後3年間、各年度の採用状況の報告を求めていると説明があった。定着率を把握するため、追跡調査を実施していただきたい。
取組状況	当事業は事業者の採用活動のオンライン化を支援するものであり、採用決定後の定着については事業者・求職者双方の都合やそのほか複合的な要因も考えられるため、事業実施後の採用状況の報告を分析することで引き続き事業効果を計る。
意見等	②加東市夏まつりの協賛金30,000円について確認したところ、コロナ前から協賛していただいていた市外の企業であり、コロナによる開催中止から再開したことを知り、協賛したいと申出があったことによるものと説明があった。金額に関わらず、様々な企業から協賛をしていただけるようPRに取り組まれない。
取組状況	各まつりとも、協賛いただけるようPRするとともに、企業版ふるさと納税の活用を進める。
意見等	③加東市の活性化に向けて、意欲的に新しいイベントに取り組まれていることを評価する。今後も人を呼び込むイベントの創出を期待するとともに、新規事業の実施後には効果を検証されたい。また、事業実施に当たっては多様な民間ノウハウを活用するためにも契約のあり方について検討願いたい。
取組状況	新規事業の効果は、これまで誘客数を基本にしていたが、今後は経済効果・広告効果など、各事業の特色に応じた効果へと範囲を広げて検証する。 契約については、観光の多様性を活かせる選択肢を検討していく。
意見等	④観光協会については、市の観光振興を図る目的で設置され、市から様々な業務を受託し、補助金の交付を受けている。これら補助金交付や事業委託などを通じて積極的に関与を行い、決算書を通じて分析し、より高い事業効果が得られるように努められたい。
取組状況	観光協会の各事業について市が積極的に関与し、高い事業効果を得られるように努めたい。

## 取組状況回答書

対象部署	都市整備部都市政策課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年8月7日
意見等	①空家除却住宅用地特例補助金について、自己資金で除却すれば対象とならないのはバランスが取れていないため、内容を検証しながら制度の見直しを検討いただきたい。
取組状況	<p>空家は、所有者等が自己の責任において適切に管理すべきものですが、金銭面が課題で老朽空家の解体が進まないこともあるため、令和4年度から空家の解体費用を補助することで老朽空家の除却を促進しています。また、住宅用地特例が適用されなくなれば、当然、固定資産税等は通常の税額に戻りますが、早期の除却をさらに促すため、老朽危険空家等除却に係る固定資産税等相当額を補助する制度を令和6年度に創設したところです。</p> <p>固定資産税等相当額の補助制度に関して、自己資金で除却する場合とバランスがとれていないということにつきましては、現時点では、補助対象者を拡大するのではなく、まずは、空家の解体費用の補助金をより多く活用していただくために、これまで以上に周知をしていきたいと考えています。</p>
意見等	②空家バンク物件情報にアパートが掲載されていることについては、市民から見たときに違和感がある。また、掲載することにより補助要件に合致するアパートの利用が増加する可能性もあり、空家の流通促進とは異なるように感じる。取り扱いについて、検討いただきたい。
取組状況	一戸建ての空家の有効活用を促進することが重要であることから、空家バンク物件情報にアパートを掲載していることについては、見直す方向で検討します。
意見等	③都市計画事務事業における土地利用方針の見直しについて、まちの活性化につながるよう取り組まれない。
取組状況	土地利用規制については直ちに変更できるものではないですが、まちの活性化につながるような土地利用ができるように引き続き取り組みます。

## 取組状況回答書

対象部署	都市整備部土木課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年8月7日
意見等	①事業選択に当たっては、地域のニーズや市の計画、財源などバランスを考慮するとともに、緊急性のあるものは優先して、適切に事業を推進されたい。
取組状況	<p>事業の選択に当たっては、道路や公園など施設ごとの計画や地区からの要望、そして財源も考慮しながら行っている。さらに、道路パトロールや市民からの通報などへの対応も適切にしており、緊急性のあるものは早急に処理している。</p> <p>特に近年は、道路や公園などの除草や剪定といった施設の維持管理に対するニーズが高くなっているため、今後も優先順位を決めたうえで、財源も考慮しながら、適切に事業を進めていきたい。</p>

## 取組状況回答書

対象部署	上下水道部（管理課・工務課）
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月25日
意見等	①浄化槽設置整備事業について、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、対象を絞った重点的な啓発、もしくは地域ごとの啓発など、効果的な啓発により、引き続き推進されたい。
取組状況	令和7年度は、30人槽以上の合併浄化槽を使用されている事業所に、更新時に活用いただける補助事業の周知（DM）を行いました。例年実施のある補助事業なので、今後の更新時の活用を促すものです。一般家庭への利用啓発と並行して、事業所への利用促進も行うことで市内の生活環境の保全に引き続き取り組みます。

## 取組状況回答書

対象部署	会計課
監査の種類	令和6年度定期監査、令和6年度決算審査
実施日	令和7年3月25日、令和7年7月24日
意見等	①基金については、より有利な資金運用が行えるよう、各種金融商品の金利の動向を注視しながら、適切な運用に努められたい。(決算審査)
取組状況	<p>令和7年度に入り、政策金利が更に上昇する中、各金融機関においても金利が上昇傾向となっています。</p> <p>資金運用の安全性を考慮しつつ、定期や債券等の金利動向を注視し、定期の場合は利率照会の頻度を増やすことも検討し、有利な資金運用に取り組みます。</p>
意見等	②資金においては、有利な金利で預け入れること、ペイオフ対策として預入先を偏らせないことの両方を踏まえて運用をしなければならない。現在、詳細な運用基準を定めていないことを確認したが、金利の上昇が続くなかで、預け入れ先の判断が難しいものとなると考えられる。資金運用の公平性・透明性を確保するとともに、リスク管理を適切に行うため、もう少し詳細な運用基準の作成を検討されたい。(定期監査)
取組状況	<p>定期預金の利率照会基準の作成については、公金管理委員会の検討課題としています。</p> <p>定期預金の預入先を分散することを踏まえ、リスク管理を適切に行えるよう、今後、詳細な運用基準の作成を進めます。</p>
意見等	③令和7年2月25日の福祉基金保有債券の入れ替え時に、その売却益915,825円は債券から現金に移行したものであったが、誤って利子収入として会計処理を行い一般会計へ繰り入れたため、今年度末現在高が前年度末より減少している。今後は、財務会計規定等を熟知のうえ正確な会計処理に努められたい。(決算審査)
取組状況	<p>今回の件については、令和7年6月30日付けで修正処理を完了しました。</p> <p>今後は、財務会計規定等を熟知し、正確な会計処理に努めます。</p>

## 取組状況回答書

対象部署	委員会事務局
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月29日
意見等	①若年層の投票率低下は課題であり、今後も継続した啓発に取り組ま れたい。また、高校卒業後に地元を離れる若年層の投票率低下について は、啓発だけではなく時代に合わせた投票方法も検討されたい。
取組状況	今後も市内中学生、高校生を対象とした選挙出前授業を継続して実 施し、若年層への啓発に取り組む。また、オンラインなどによる投票 についても今後研究を進めていく。

## 取組状況回答書

対象部署	教育振興部教育総務課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月23日
意見等	①給食費の滞納整理の結果、昨年度に比べ滞納者の人数が減少したことを評価する。過年度分については、既に学校を卒業された児童生徒もいるが、引き続き徴収にご尽力いただきたい。また、在籍されている場合には、これまでの給食徴収金の趣旨を十分に説明のうえ、徴収に努められたい。
取組状況	<p>令和6年度より給食費無償化を制度化し、過年度滞納者のみの徴収となっている。</p> <p>債権差押命令や支払督促、仮執行宣言により徴収に繋がった。</p> <p>上記以外の市内滞納者へは、年度内に通知や電話等で児童手当の充当を見据えた支払いを求め、徴収に繋げていく。</p> <p>以下、今年度の取組状況（滞納状況）を報告します。</p> <p>&lt;今年度の取組状況（R7.12.31現在）&gt;</p> <p><b>【滞納状況】</b></p> <p>令和7年4月1日現在 債務者 20名 滞納額 1,197,830円</p> <p>令和7年12月31日現在 債務者 17名 滞納額 756,546円</p> <p style="padding-left: 150px;">完納者 3名 収納額 441,284円</p>
意見等	②徒歩通学でも自転車を家で使用する生徒は助成を利用できるなど、生徒の安全面を考慮した交付条件等について検討いただきたい。
取組状況	<p>入学説明会等で自転車通学の対象生徒は学校指定のヘルメットを購入し、その半額を市から助成しています。徒歩通学等で補助対象ではない生徒は、「加東市安全安心のまちづくり補助金」を利用させていただくことにより、ヘルメット購入金額の半額が助成されます。</p>

## 取組状況回答書

対象部署	教育振興部教育総務課（滝野中学校）
監査の種類	令和6年度定期監査
実施日	令和7年2月25日
意見等	①学校徴収金について、現金を管理するにあたっては、担当者以外の者が容易にチェックができる体制をつくり、学校の適任者が定期的・臨時的にチェックすることが必要である。過去に現金出納簿の作成を指示したときよりも、現金を手元で管理する期間が短縮されている現状と、今回確認した証拠書類では担当者以外が確認しづらいことを鑑み、現金出納簿については今後も作成するとともに、預金の動きを把握する出納簿についても作成を検討されたい。
取組状況	他校の出納簿を比較参照し、見やすい表示の出納簿の記載方法に変更しました。
意見等	②備品管理について、備品の基準は比較的長期にわたり使用できて、1点当たりの購入価格が1万円以上のものを指すが、中には複数の備品を一括購入した場合などに1万円以下の物品が備品台帳に登録されているケースがある。小中一貫校開校に向けて準備を進めているとのことなので、事務負担軽減を図るという観点からも、1点当たりの購入価格を算出して1万円以下である場合は、金額によらず備品とするものを除き消耗品として取り扱うこと。また、廃棄や移管することを想定し、複数の備品を一括購入した場合においても、1個につき1つの備品番号を付して管理することを徹底されたい。
取組状況	複数個ある備品については枝番号で管理しているが、リストで印字する際には行数やページが増えるため個数表示で提出していました。 少額の備品については、小中一貫校の開校に向け統一的な取り扱いを図っていきます。
意見等	③備品台帳には、昭和40～50年に取得した古い備品が登録されている。一部現物を確認できなかったものの、大半は現在使用していないとの説明を受けた。取得年数が古く、現在使用していないのであれば廃棄を検討されたい。また、特に体育用品などけがを生じるおそれがあるような備品については、物品の耐用年数と劣化による危険性を十分に確認していただきたい。
取組状況	体育用品等の劣化状況については、使用前に定期的に教員が確認しています。 今後、滝野地域小中一貫校の開校に向け備品を集約していく中で、耐用年数等を考慮しながら備品の更新を図っていきます。

## 取組状況回答書

対象部署	教育振興部生涯学習課
監査の種類	令和6年度定期監査、令和6年度決算審査
実施日	令和6年10月24日、令和7年7月23日
意見等	①指定管理において、適切な施設運営が可能となるよう、各施設の指定管理者の経営状況を注視し、適切な指定管理料を設定されたい。(決算審査)
取組状況	指定管理者と年1回以上打ち合わせを行い、コミュニケーション及び連携を図っています。指定管理者のモニタリングで経営状況を評価・確認しており、施設管理に係る光熱水費などの経費負担については指定管理料を圧迫することがないように今後も柔軟に対応し、適切な金額を設定します。
意見等	②元気な高齢者を増やす取り組みとして、高齢者大学やふれあい球技大会は有意義な事業である。引き続きより多くの方が参加できるように努められたい。(定期監査)
取組状況	高齢者が前向きな人生観を持って、積極的に人間関係をつくり、地域活動に参加する基礎的な能力を身につけるため、教養性・社交性・実用性を重視した学習の機会の提供に引き続き努めます。 ふれあい球技大会は、より多くの方が参加できるように球技種目の見直しも含め、周知に努めます。

## 取組状況回答書

対象部署	教育振興部中央図書館
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月23日
意見等	①令和6年度においても、人口規模別の貸出密度が全国1位（19年連続）となったことを評価する。引き続き貸出業務にご尽力いただくとともに、19年連続1位であることは、市民に広くアピールされたい。
取組状況	広報、図書館だより、年報、返却期限票等でPRしました。 おでかけ図書館で来館した小学3年生に「貸出密度日本一」のしおりをプレゼントしています。
意見等	②図書館資料宅配サービスは、加東市在住の障害者手帳を持つ方及び高齢で来館が難しい方(家族等が来館できる場合は除く)を対象としており、令和6年度における利用者数は3人（前年度比1人増）であった。対象者が限定されているため、今後も利用者は多くはないと思われるが、継続して取り組まれない。
取組状況	広報、図書館だより等でPRします。他課の協力も仰ぎPRし、今後も継続して取り組みます。

## 取組状況回答書

対象部署	こども未来部小中一貫教育推進室
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月29日
意見等	①社学園の開校について、安全性と学習環境の確保や物価高騰など様々な課題があったが、計画どおり令和7年4月1日に開校したことを評価する。滝野学園については、これまでの建設工事のノウハウを生かし、令和10年度の開校に向けて計画的に進められたい。
取組状況	<p>滝野地域小中一貫校については、令和7年10月14日に工事業者と契約し、工事着手しています。</p> <p>社学園と同様に、中学生が通学する中での工事施工となります。社学園でのノウハウを生かして、生徒の学習環境や安全を確保しながら、学校や地域、設計監理業者、工事業者等との連携を密にし、予定通り工事が進むよう取り組んでまいります。また、備品購入や引っ越し作業等についても、工事進捗や学校行事と十分調整しながら、遅れが出ないように進めてまいります。</p>

## 取組状況回答書

対象部署	こども未来部学校教育課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月29日
意見等	①働き方改革を行う上で、教員の超過勤務状況を把握し、業務そのものの見直しや教員以外の採用など、教員が児童生徒と向き合う時間の確保につながるような働きやすい環境づくりに向けて尽力されたい。
取組状況	毎月、教職員の超過勤務状況報告を受け、勤務状況を把握している。80時間を超過した職員に対して、産業医面談を実施し、校長との面談や、業務内容の見直しを指導している。また、スクールサポートスタッフ等の市の会計年度任用職員を配置し、教員が児童生徒と向き合う時間の確保につなげるとともに、引き続き、風通しの良い職場づくりに努める。
意見等	②部活動の地域展開について、指導員の確保など、様々な課題があると思われるが、地域・学校・教育委員会が密に連携を行い、円滑な地域展開に努められたい。
取組状況	令和10年度総体後の地域展開に向けて、地域・学校・教育委員会が一体となって部活動地域展開を進めるよう、部活動地域展開の意義、今後のスケジュール等について説明し理解促進を図った。 <b>【実績】</b> R7.8.6「教職員夏季研修会」(加東市内全教職員対象) R7.10.26「部活動改革シンポジウム」(市民対象) ほか、各中学校(教職員対象)、関係団体(地域対象) また、地域クラブ活動団体や指導者の確保に向け、広報「かとう」やホームページを活用し募集を呼びかけ、15団体の申請があった。 (令和7年12月現在)
意見等	③不登校対策においては、これまでから単に「学校に登校」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒の「社会的成長」につながる取り組みをされているが、児童生徒の安心につなげるためにも家庭への支援や、不登校が生じないような学校づくりにも併せて取り組んでいただきたい。
取組状況	不登校の未然防止については、小学5年生を対象に「勇者の旅」プログラムを実施し、不安への対処行動療法を学ばせ、中長期的な取組を行っている。また、児童生徒が安心して過ごし、学べるようにするための校内サポートルームを設置し、県の基準よりも多い不登校児童生徒支援員(生活指導補助員)を8名配置している。月に1回学校生活についてのアンケートも実施しており、不登校の早期支援につなげ

	<p>ている。</p> <p>家庭への支援については、不登校状態を起因とした孤立化を防ぎ、学校以外の場において行う社会的自立に向けた多様で適切な学習活動を支援するため、令和7年6月から不登校児童生徒支援施設利用への助成を行っている。また、学校と家庭が連携するため、普段の電話連絡や訪問だけでなく、教育支援センター等主催の不登校児童生徒の保護者会を開催している。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 取組状況回答書

対象部署	こども未来部発達サポートセンター
監査の種類	令和6年度定期監査、令和6年度決算審査
実施日	令和7年5月26日、令和7年7月29日
意見等	①専門的な知識を有しない人に障害の早期発見は難しいと思われるため、DELI コラなどを活用し、知識の習得に向けて、積極的な働きかけを継続されたい。(決算審査)
取組状況	健康課をはじめとする関係機関と連携し、専門的視点からの障害の早期発見に取り組んでいます。また、園や学校への巡回相談やDELI コラなどの巡回相談により、支援方法や対応などの助言を行い、引き続き、園や学校教員等の専門性の向上に取り組んでいきます。
意見等	②当センターが取り組んでいる各種事業はいずれも専門性を要するものであるが、教育現場や家庭での利用者の悩みや負担が軽減されるよう事業を推進していただきたい。(決算審査)
取組状況	はぴあプラザは、予約なしで自由に参加ができ、子どもを遊ばせながら発達サポートセンターの保健師等に気軽に相談ができる場として年6回開催をしています。また、学校や園、保護者の希望に応じて実施する巡回相談を行っており、教育や保育現場で子どもの様子を確認しながら、個々の悩みに応じた相談・助言を行っています。 引き続き、事業を有効に活用していただけるよう周知を行うとともに、本人・関係者のニーズに応じた適切な支援や助言を行うことができる体制の維持に努めます。
意見等	③発達障害に関して、子どもを持つ保護者の認知度は年々上がっていると思われるが、子どもを持たない家庭等については認知度が低いままであると思われるため、研修や啓発を通じて、加東市全体で見守ることができる環境づくりに努められたい。(定期監査)
取組状況	年間計画に基づき年2回の市民講演会を開催し、障害理解の啓発に取り組んでいます。講演会開催の周知については、ホームページやケーブルテレビだけでなく、新聞掲載により広く一般の方にも周知できるよう取り組みました。また、講師の選定や講演会の内容については、障害者や子どもが身近にいない方でもわかりやすく、興味を持てるテーマになるよう努めています。

## 組状況回答書

対象部署	こども未来部こども教育課
監査の種類	令和6年度決算審査
実施日	令和7年7月29日
意見等	①重層的支援体制整備事業について、園児だけでなく、子育て中の親子が少しでも安心できる場を提供できるよう、引き続き支援に努めていただきたい。
取組状況	<p>児童館2館・東条鯉こいランド及びかとう GENKiにおいて、子育て中の家庭が楽しめる教室の開催や子育て相談を実施することにより、安心して子育てができる環境作りに取り組んでいます。</p> <p>令和6年度から実施した各教室への電子申請について、申請件数が増加しており、今後も子育て中の家庭が利用しやすい環境作りに務めます。</p>
意見等	②入所可能な保育所施設があることは、移住先を選ぶときの重要な要素であることから、保育士の確保を含め、保育サービスの充実に取り組まれない。
取組状況	<p>市内私立保育所等に就職する保育士等を対象に補助金を交付するとともに、兵庫県保育協会加東支部と連携して就職フェアを開催するなど、引き続き保育士等の確保に努めるほか、保育士等を対象とした様々な研修を実施するなど、保育士等の専門性を高め、教育・保育の質の向上に努めます。</p> <p>また、国・県の補助金を活用しながら、保育料軽減事業や教育無償化保育料軽減事業に継続して取り組み、保護者の経済的負担の軽減を図ります。</p> <p>令和8年度中の開所に向け小規模保育事業所を整備することにより、待機児童及び保留児童の減少を図ります。</p>

## 取組状況回答書

対象部署	こども未来部こども教育課（加東みらいこども園）
監査の種類	令和6年度定期監査
実施日	令和7年2月25日
意見等	①備品管理について、備品の基準は比較的長期にわたり使用できて、1点当たりの購入価格が1万円以上のものを指すが、中には複数の備品を一括購入した場合などに1万円以下の物品が備品台帳に登録されているケースがある。事務負担軽減を図るという観点からも、1点当たりの購入価格を算出して1万円以下である場合は、金額によらず備品とするものを除き消耗品として取り扱うこと。また、廃棄や移管することを想定し、複数の備品を一括購入した場合においても、1個につき1つの備品番号を付して管理することを徹底されたい。
取組状況	1万円以下の物品に関して、台帳から削除した。 一括購入した複数の備品の一括登録については、順次登録を進めています。
意見等	②備品台帳には、昭和61年に取得した跳び箱や平均台、踏切板が登録されている。現物は一部確認できなかったが、現在は本来の用途としては使用していないものと考えられる。取得年数が古く、現在使用していないのであれば廃棄を検討されたい。また、若い園児達が使用するものであるため、物品の耐用年数と劣化による危険性を十分に確認していただきたい。
取組状況	取得年数が古く現在使用していない物品については廃棄を実施しました。また、園児が使用する遊具等については安全性を考慮し日々の業務の中で十分に確認をしていきます。
意見等	③米田こども園及び鴨川保育園を加東みらいこども園に統合することにより、当園の備品も増えるため移管及び管理については十分注意していただきたい。
取組状況	米田こども園及び鴨川保育園については、必要な物品について移管及び備品登録を実施しました。 今後も物品の移管の都度、備品管理を徹底していきます。